

## Q2 日本はどんな教育協力を行っているの？

### A2 教育の質を高め、産業・人材育成につながる協力を力を入れています。

日本は、2015年に発表した「平和と成長のための学びの戦略」において、①包摂的かつ公正な質の高い学びに向けた教育協力、②産業・科学人材育成と社会経済開発の基盤づくりのための教育協力、③国際的・地域的な教育協力ネットワークの構築と拡大への取り組みを重視することを表明しています。

この戦略に基づき、日本はJICAやNGOを通じた二国間協力に加え、ユニセフ（国連児童基金）、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）、教育のためのグローバルパートナーシップ（GPE）といった国際機関を通じた多国間協力も実施しています。

学びの質の改善を目的とした日本の代表的な協力として、04年からニジェールで実施

している「みんなの学校プロジェクト」があります。このプロジェクトは、教員、保護者、コミュニティの代表による学校運営委員会（COGES）をつくり、住民が学校運営の中心的な役割を担い、子どもの教育環境と学びを改善するものです。ニジェールで大きな成果を上げた「みんなの学校」モデルは、その後、セネガル、ブルキナファソ、マリ、マダガスカル、コートジボワールなどに広がり、各国の就学率向上に貢献するとともに、近年は子どもの読み書き・計算スキルの向上にも大きな成果を上げています。

また、イノベーションを生み出す教育については、14年からケニアでアフリカの科学技術イノベーション（STI）振興に貢献する人材育成を目的とした技術協力「アフリカ型イノ



ニジェールの「みんなの学校プロジェクト」。教員と保護者、地域の人たちが集まり、学校の課題について話し合う。

ベーション振興・JKUAT/PAU/AUネットワークプロジェクト」を実施。ジョモケニヤッタ農工大学（JKUAT）に設置された大学院（PAUSTI）に対し、研究環境の整備や研究能力強化の協力を実施しています。PAUSTIではこれまでにアフリカ43か国より修士課程384人、博士課程179人の留学生を受け入れ、175人の修士号、19人の博士号取得者を送り出しています。



マダガスカルでも実施されている「みんなの学校プロジェクト」。算数の補習授業を受ける子どもたち。



ものづくりの力を養うためのグループワークを行うJKUATの学生たち。



ケニアだけでなくアフリカの科学技術イノベーションの拠点として成長しているJKUAT。日本で学んだ学生たちが中心となり、新型コロナウイルス対策の研究開発で人工呼吸器を開発した。

## Q3 教育協力の課題は？

### A3 コロナ禍でも子どもたちが教育の機会を失わず、質の高い教育を受けられるよう、「誰一人取り残さない」教育協力です。

ユネスコの統計によると、世界の初等教育の就学率は大幅に改善されましたが、中学校と高校を含めると、世界で学校に通うことができていない子どもは約2.6億人います。また世界銀行は、学校に通っているものの、基本的な読み書きや算数ができない子どもたちが多い状況を「学びの危機」と警告を鳴らしています。

このような世界の教育の現状に加え、2020年は新型コロナウイルス感染拡大により、世界中で学校が閉鎖され、多くの子ども

の学びに大きな影響が出ました。とりわけ脆弱な立場に置かれている子どもへの影響は深刻です。貧困家庭の子どものさらなる貧困化、学校給食を食べられなくなったことによる栄養状態の悪化、特に女子への暴力や虐待のリスクの増加など、さまざまな影響が指摘されています。学校閉鎖によって児童労働や児童婚が増加し、学校が再開されても子どもたちが学校に戻れない可能性があることも危惧されています。

20年はSDGs達成まであと10年となる重

要な「節目の年」でしたが、コロナ禍により、これまでの成果が後退する可能性も指摘されており、30年のSDGs目標達成がいつそう困難な状況になっています。

新型コロナウイルス感染拡大は人間の安全保障に対する脅威であり、SDGs達成の観点からも、「誰一人取り残さない」対応がこれまで以上に求められています。日本は、子どもたちが教育の機会を失うことなく質の高い教育を受けられるよう、引き続きさまざまな関係者と協力して教育支援に取り組んでいきます。



## Q1 どうして教育協力を行うの？

### A1 教育が、人間一人ひとりの命・生活・尊厳をさまざまな脅威から守ることを可能にするからです。

教育は、すべての人が等しく享受すべき基本的な権利で、一人ひとりが自らの才能と能力を伸ばし、尊厳をもって生活することを可能にします。また教育は、各国の持続可能な開発の実現に重要な役割を果たすと同時に、他者や異文化に対する理解と信頼を育むことも可能にするため、平和を支える礎にもなるものです。

日本は、人間一人ひとりの命と生活と尊厳を多様な脅威から守るという「人間の安全保障」を実現するために教育が不可欠であると

考えてきました。また、国連が2015年に採択した持続可能な開発目標（SDGs）は、目標4（SDG4）に「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」と掲げています。教育への協力は、SDG4の達成だけでなく、SDGsの17すべての目標達成の鍵にもなります。日本は、人間の安全保障の実現やSDGsの達成のためにも必要な教育分野への協力を重視しています。

## 教えて! 外務省 / 知っておきたい 国際協力②8



途上国の子どもたちが質の高い学びを通してさまざまな危機を乗り越えていく力を備えることができるよう日本は国際協力を行っています。

今月のテーマ

# 日本の教育協力

答えてくれた人



外務省 国際協力局 地球規模課題総括課 課長補佐 青木 めぐみ（あおきめぐみ）さん  
ジョージタウン大学大学院外交学部安全保障プログラム修了。2017年、外務省入省。在コートジボワール日本大使館などに勤務。20年5月から現職。教育を担当。